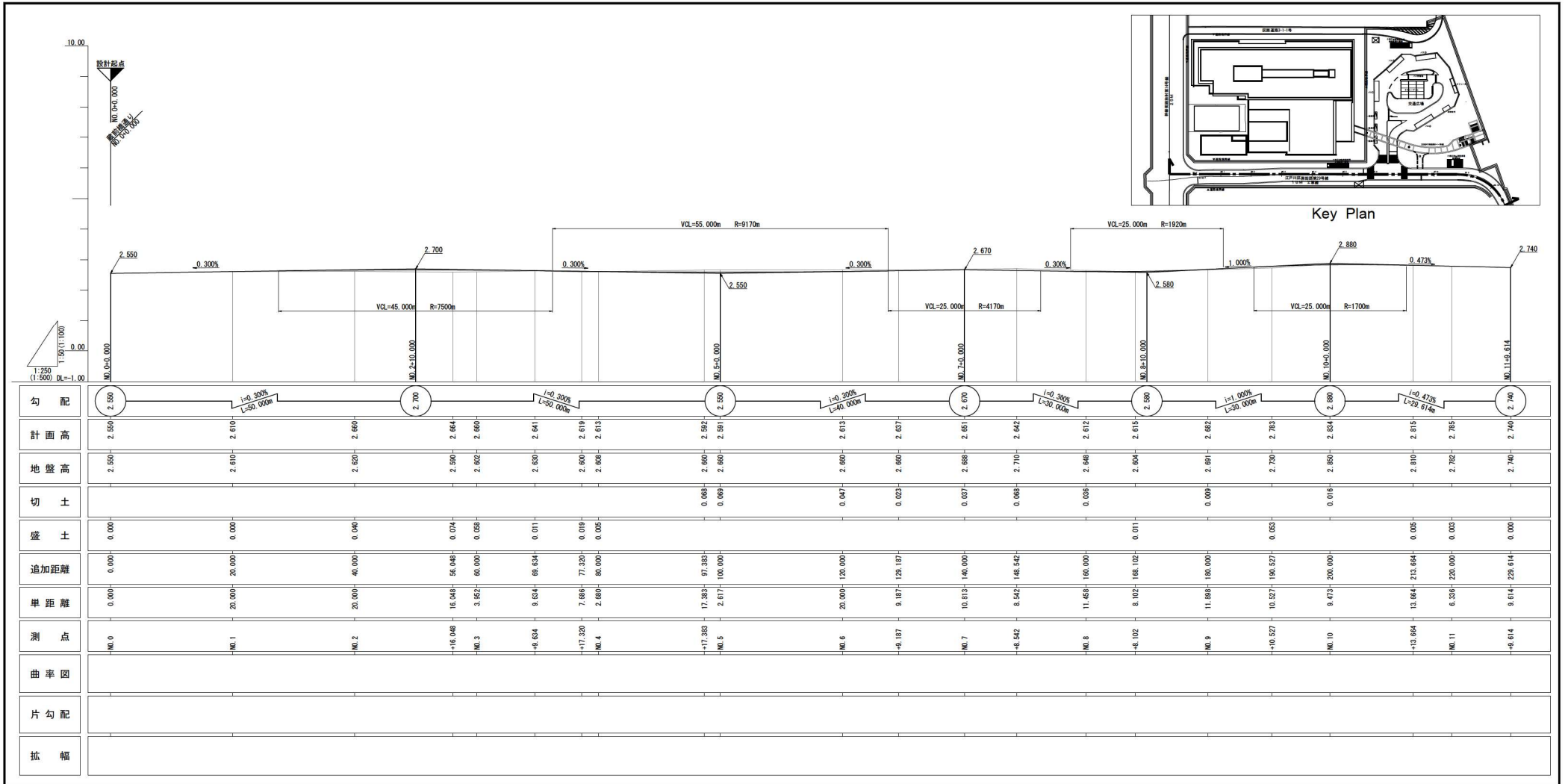
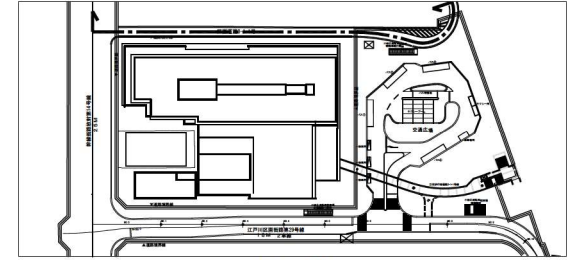


※立体歩行者通路3-1-1号の江戸川区画街路第29号線を横断する通路の位置は、今後、関係権利者及び関係機関との協議を行い決定する。

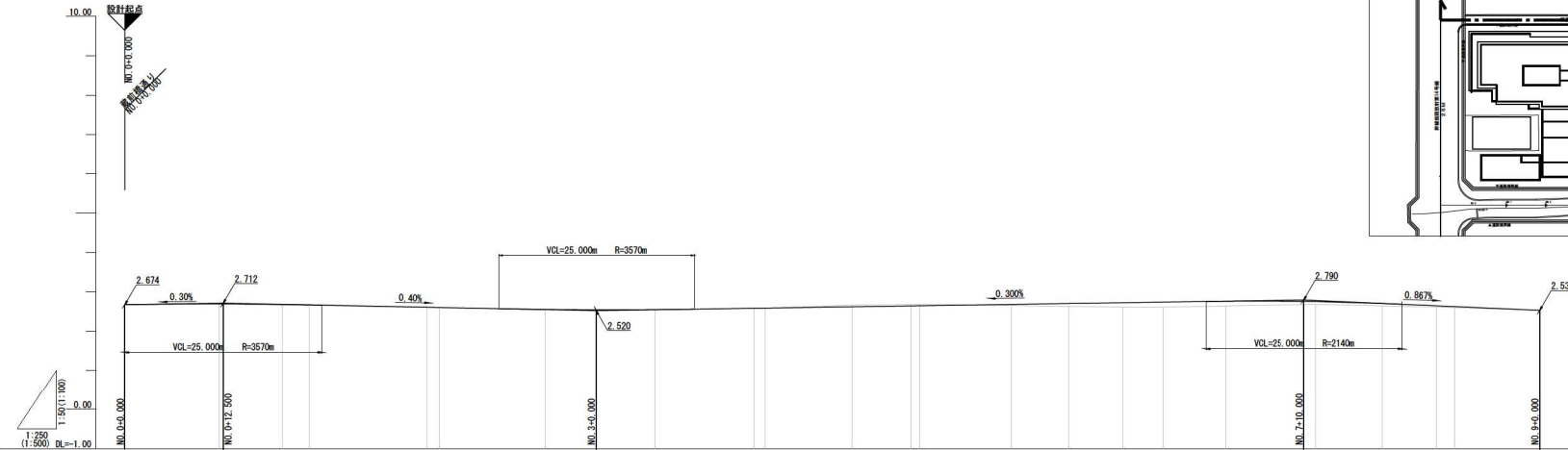
添付書類 (5)-2 公共施設の設計図 区画街路第29号線 縦断面図

V=1:100 H=1:500

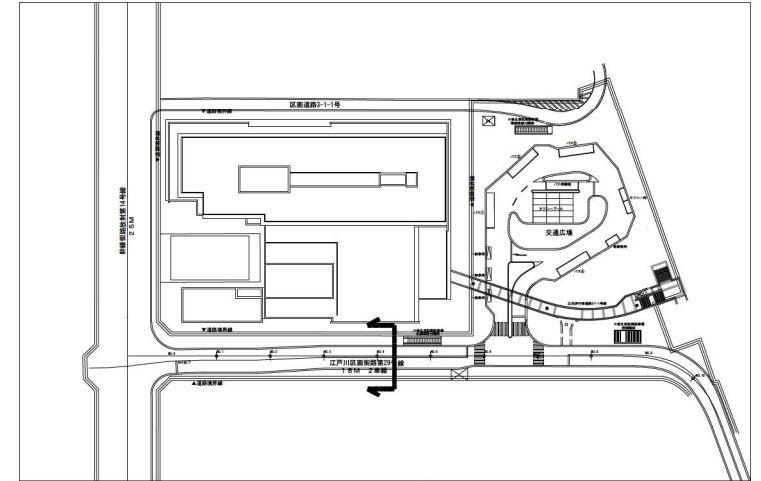




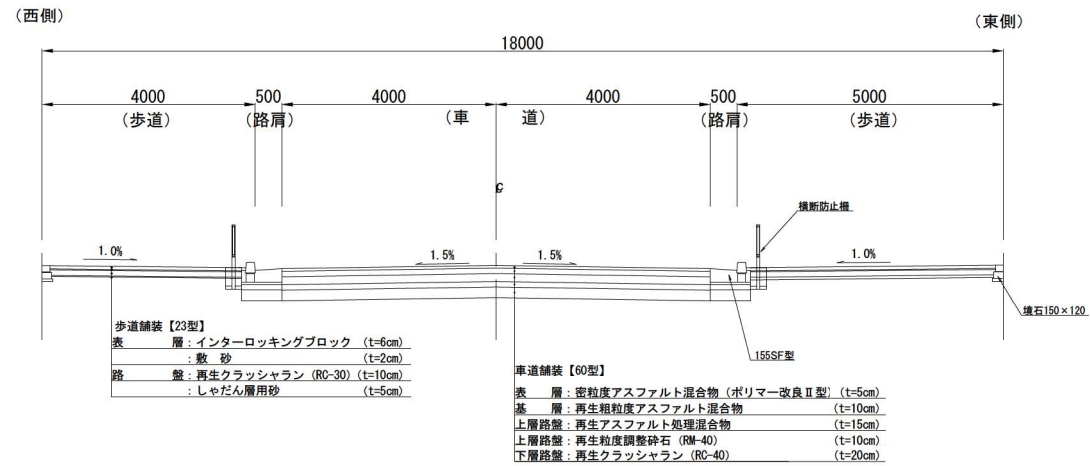
Key Plan

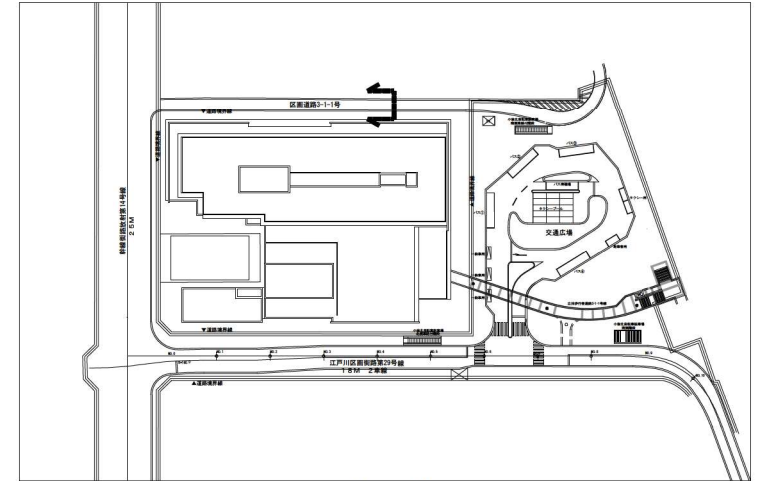


勾配	1:50 (1:100)		1:250 (1:500) DL=1.00																			
計画高	2.674	2.712	2.680	2.678	2.667	2.668	2.651	2.552	2.542	2.546	2.578	2.584	2.677	2.665	2.678	2.700	2.700	2.610	2.624	2.624	2.530	
地盤高	2.674	2.700	2.685	2.650	2.650	2.540	2.541	2.544	2.578	2.584	2.660	2.617	2.677	2.660	2.650	2.630	2.630	2.610	2.595	2.595	2.530	
切土	0.000	0.010	0.013	0.008	0.007	0.010	0.001	0.002	0.001	0.008	0.043	0.043	0.032	0.033	0.028	0.070	0.070	0.024	0.029	0.029	0.000	
盛土	0.000																					
追加距離	0.000	11.992	20.000	38.552	40.000	53.399	60.000	67.473	80.000	81.451	92.462	100.000	101.101	112.746	120.000	126.905	131.956	140.000	151.464	166.863	169.195	180.000
単距離	0.000	11.992	8.008	14.508	1.448	13.399	6.531	7.473	12.527	1.451	11.041	7.598	1.101	11.445	7.254	6.956	5.051	8.044	11.464	8.596	6.863	0.000
測点	NO.0	+11.992	NO.1	+18.552	NO.2	+13.399	NO.3	+7.473	NO.4	+1.451	+12.462	NO.5	+1.101	+12.746	NO.6	+4.905	+11.956	NO.7	+11.464	NO.8	+6.863	NO.9
曲率図																						
片勾配																						
拡幅																						

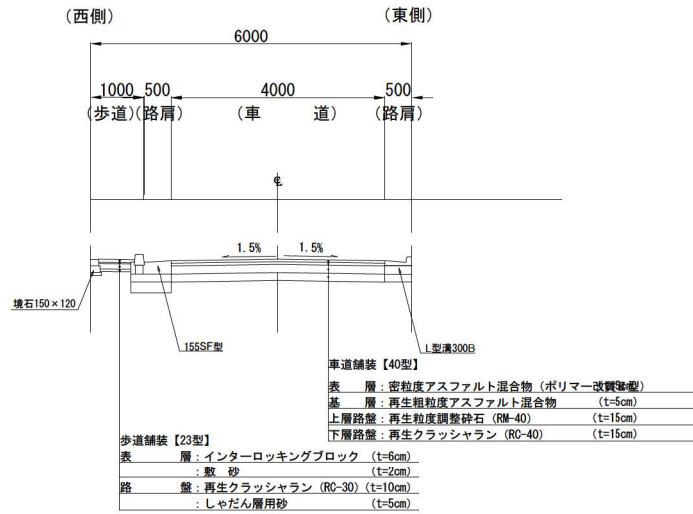


Key Plan

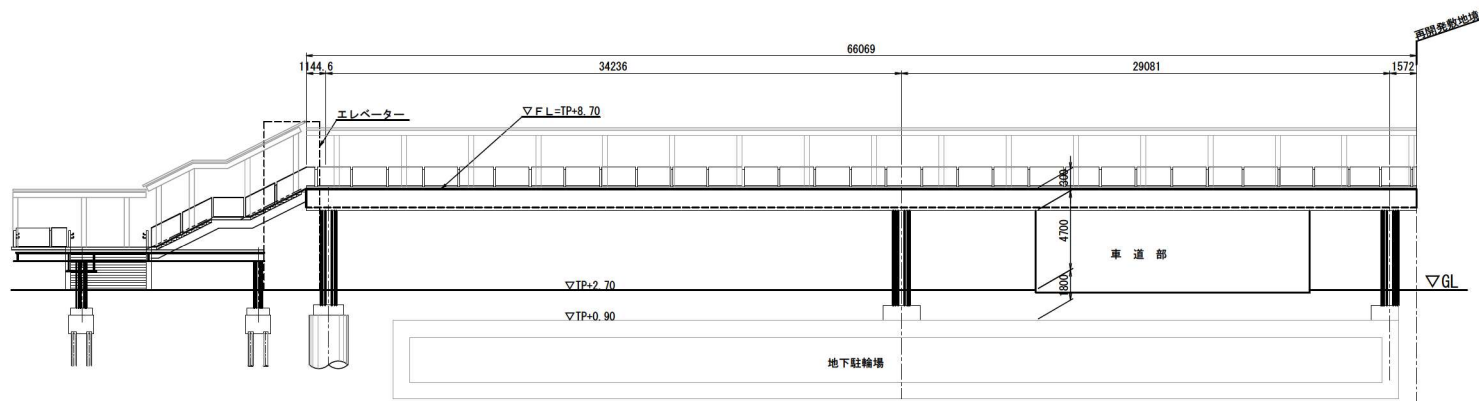




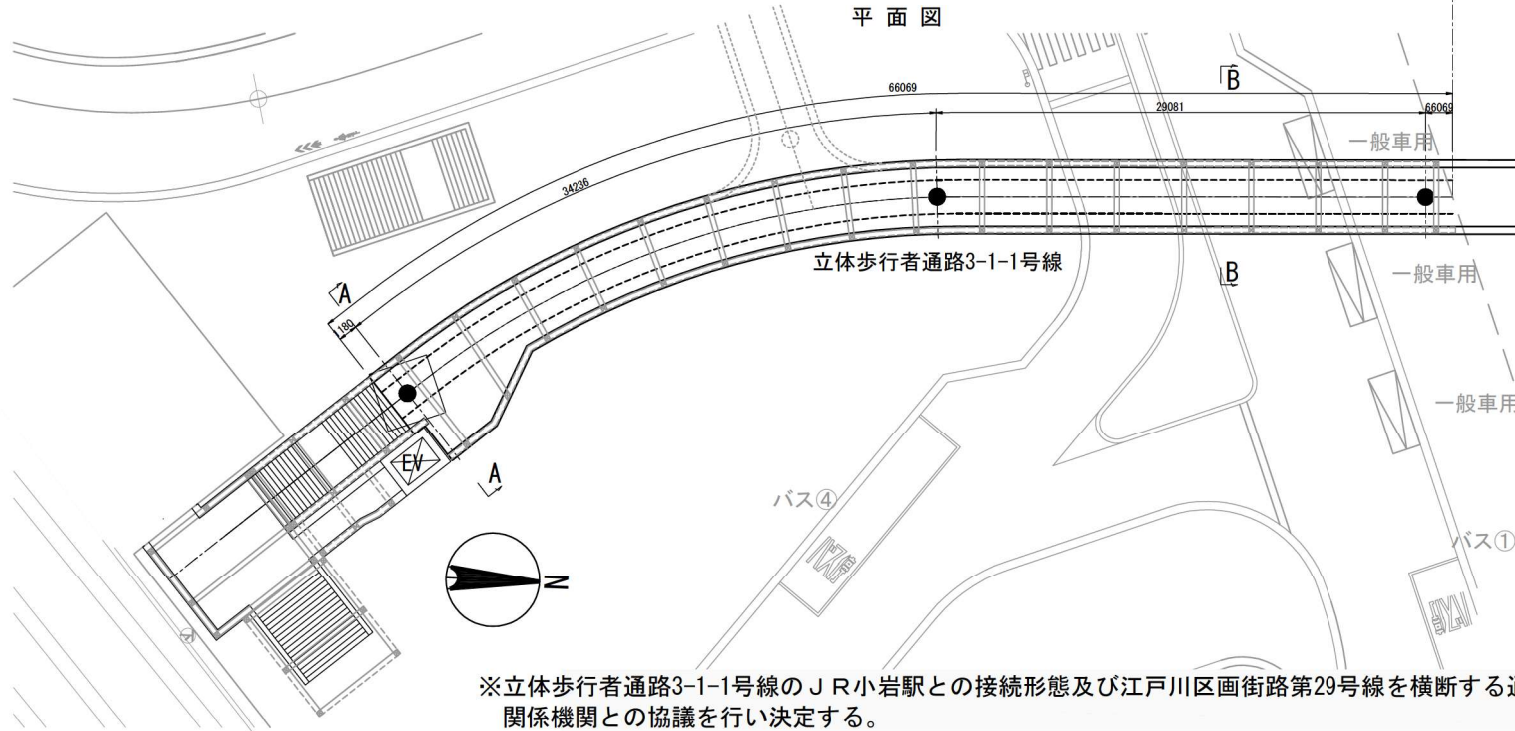
Key Plan



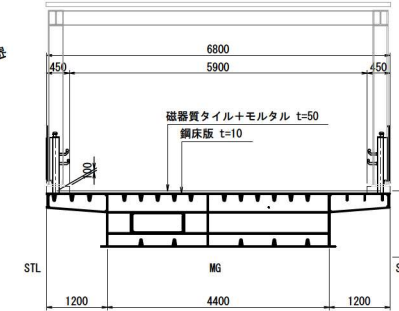
側面図



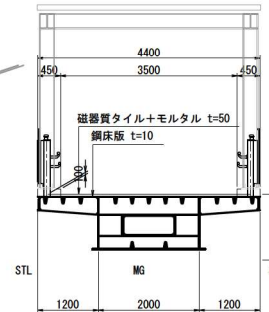
平面図



A-A断面図 S=1:50



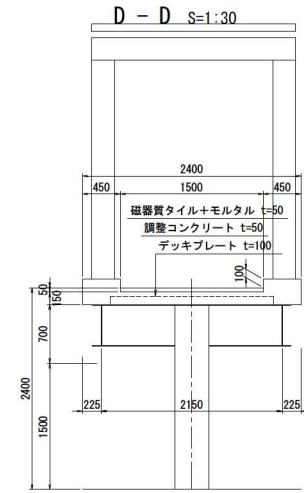
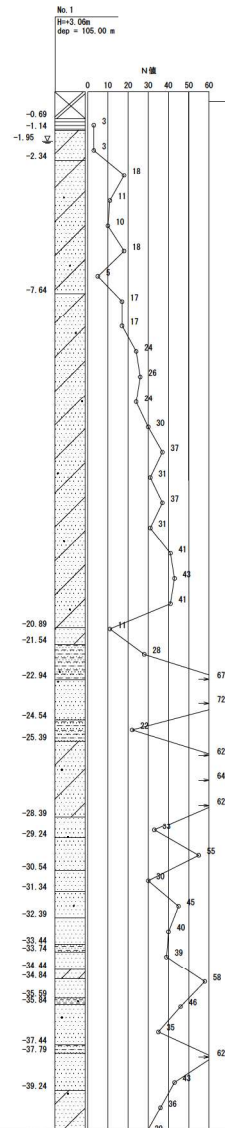
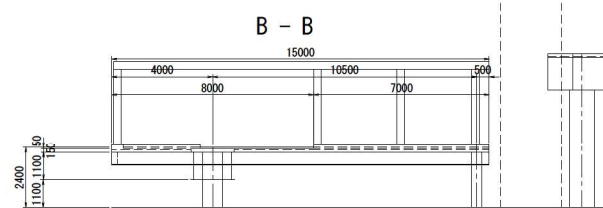
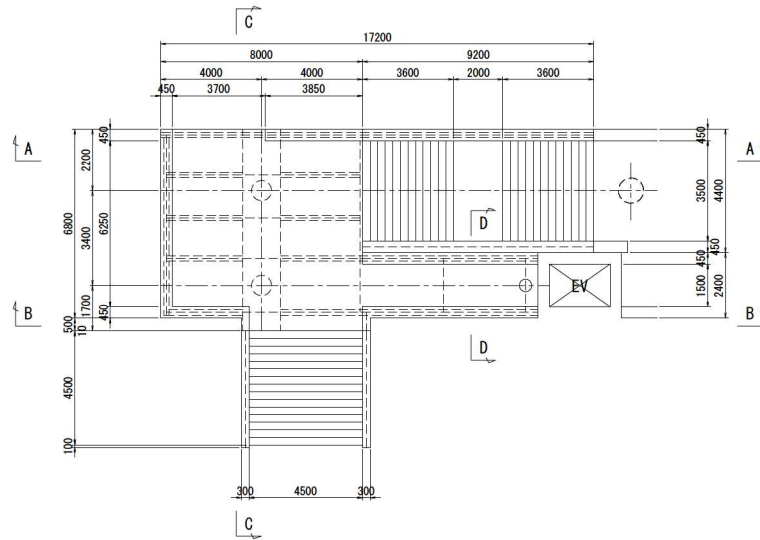
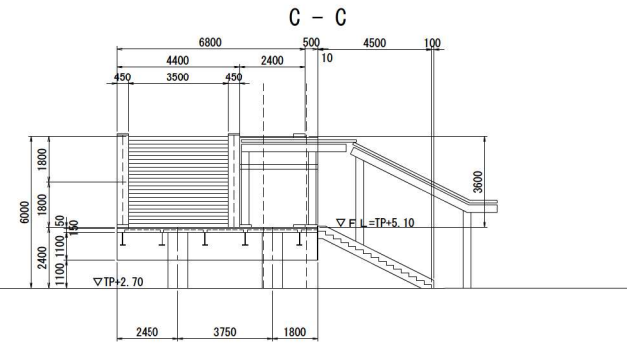
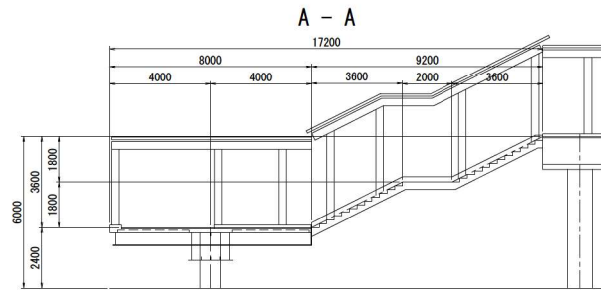
B-B断面図 S=1:50



設計条件

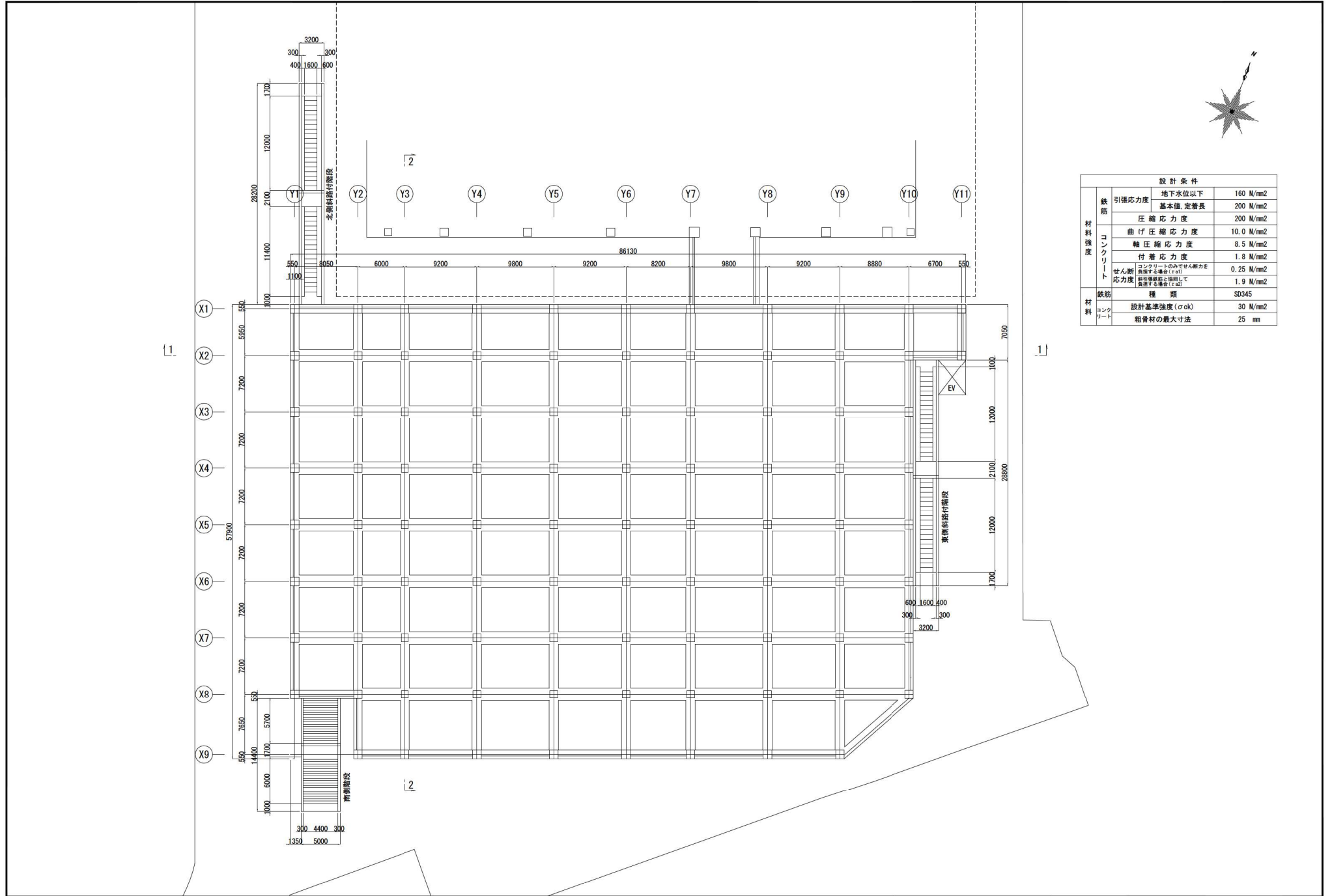
橋種	歩道橋
橋形式	2径間連続鋼床版箱桁(1-Box)橋
桁長	66.069 m (通路中心線)
支間長	34.236 m + 29.081 m (張出部 1.180 m, 1.572 m)
有効幅員	標準部 3.500 m
縦断勾配	Level
横断勾配	Level
床版	鋼床版 10 mm
舗装	磁器質タイル+モルタル t=50
使用鋼材	SS400, SM400, SM490Y, STK400, S10T(TCB)
適用示方書	道路橋示方書・同解説(日本道路協会・平成24年3月)
	立体橋断設技術基準・同解説(日本道路協会・昭和54年1月)

※立体歩行者通路3-1-1号線のJR小岩駅との接続形態及び江戸川区画街路第29号線を横断する通路の位置は、今後、関係権利者及び関係機関との協議を行い決定する。

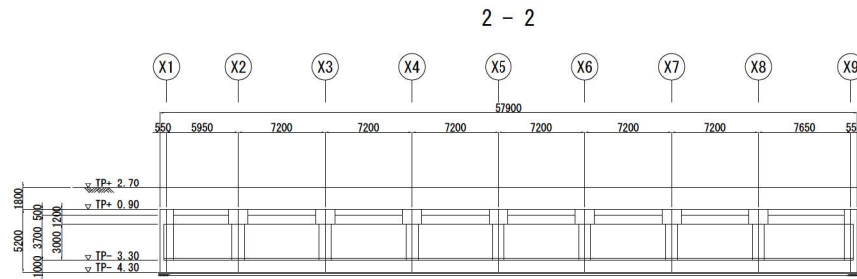
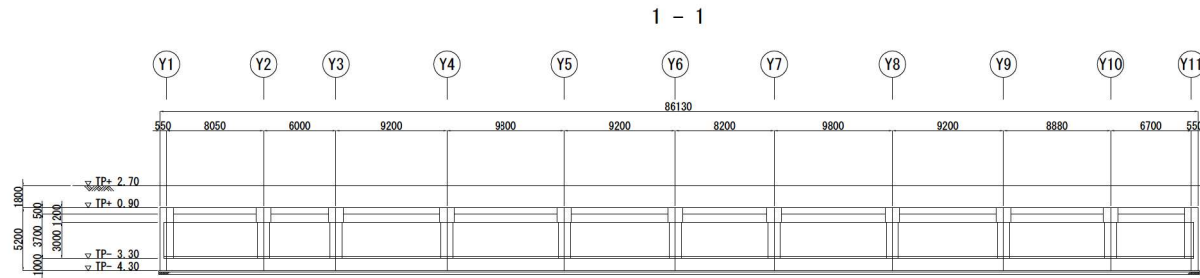


設計条件

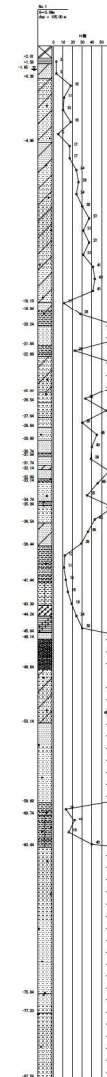
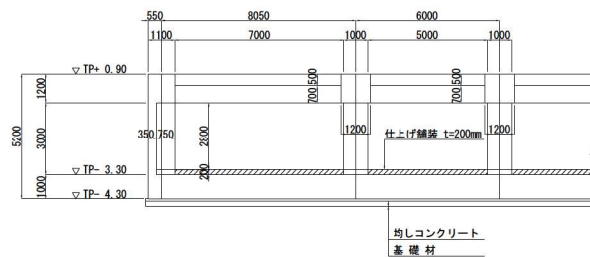
橋種	歩道橋
形式	デッキプレート床版桁
桁長	図示
支間長	図示
有効幅員	図示
縦断勾配	Level
横断勾配	Level
床版	デッキプレート t=100 + 調整コンクリート t=50
舗装	磁器質タイル+モルタル t=50
使用鋼材	SS400, SM400, SM490Y, STK400, S10T (TCB)
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (日本道路協会・平成24年3月) 立体横断施設技術基準・同解説 (日本道路協会・昭和54年1月)



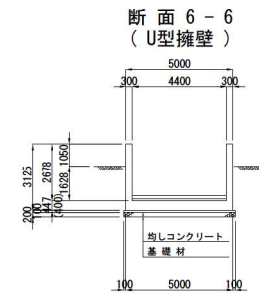
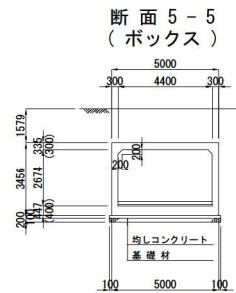
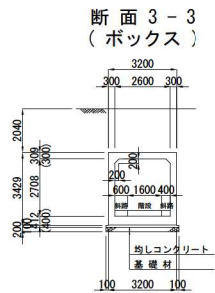
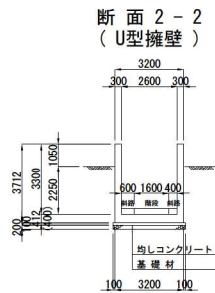
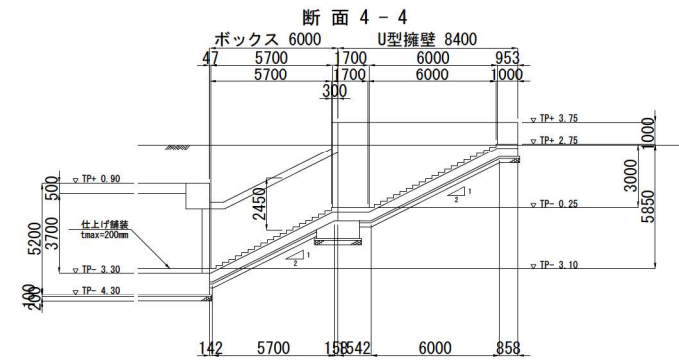
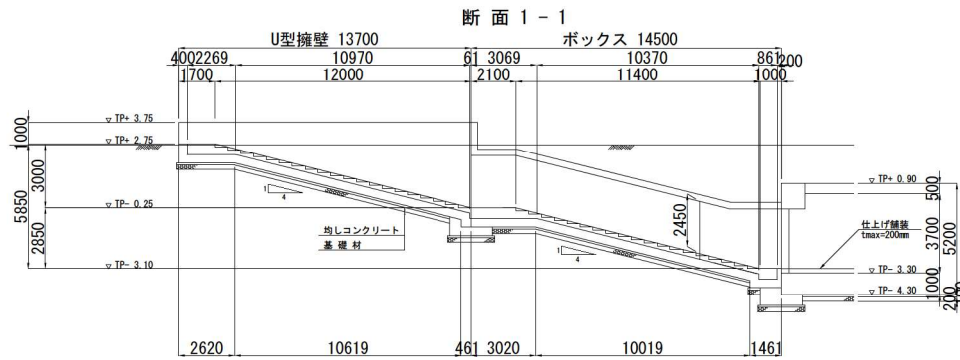
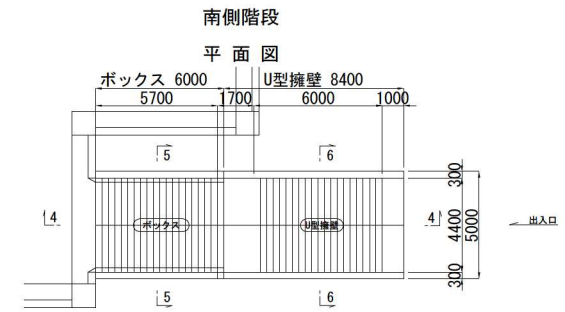
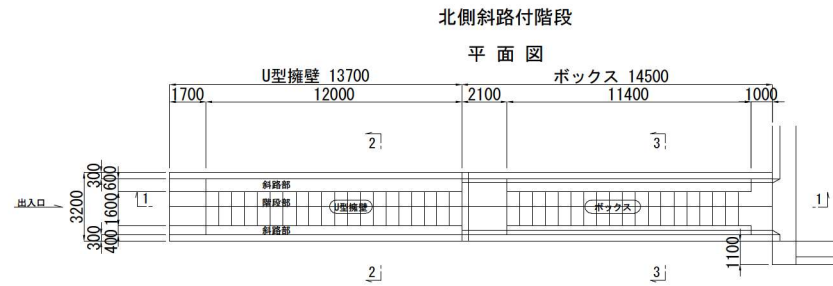
設計条件			
材料強度	鉄筋	引張応力度	地下水位以下 160 N/mm ²
		基本値, 定着長	200 N/mm ²
	コンクリート	圧縮応力度	200 N/mm ²
		曲げ圧縮応力度	10.0 N/mm ²
		軸圧縮応力度	8.5 N/mm ²
		付着応力度	1.8 N/mm ²
せん断応力度	コンクリートのみでせん断力を負担する場合(σ _{ct})	0.25 N/mm ²	
	鉄引線等と共同して負担する場合(σ _{ct})	1.9 N/mm ²	
材料	鉄筋	種 類	SD345
	コンクリート	設計基準強度(σ _{ck})	30 N/mm ²
		粗骨材の最大寸法	25 mm



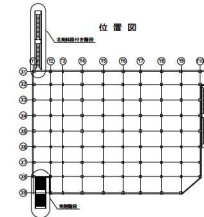
断面詳細図 S=1:100



設計条件			
材料強度	鉄筋	引張応力度	地下水以下 160 N/mm ²
		基本値, 定着長	200 N/mm ²
	コンクリート	圧縮応力度	200 N/mm ²
		曲げ圧縮応力度	10.0 N/mm ²
		軸圧縮応力度	8.5 N/mm ²
		付着応力度	1.8 N/mm ²
せん断応力度	コンクリートのみでせん断力を負担する場合 (t-a)	0.25 N/mm ²	
	鉄筋の引張と協同して負担する場合 (t-b)	1.9 N/mm ²	
材料	鉄筋	種 類	SD345
	コンクリート	設計基準強度 (σ _{ok})	30 N/mm ²
		粗骨材の最大寸法	25 mm



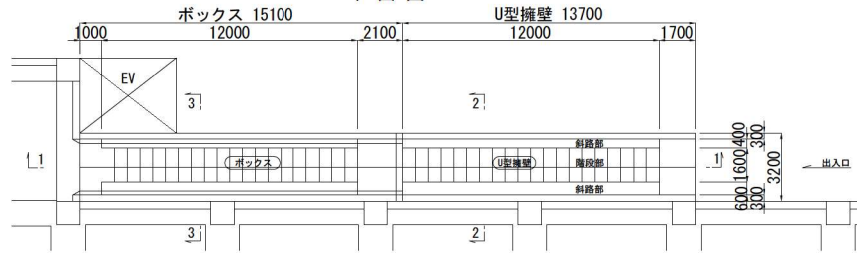
※ ()内は、部材直断面での値を示す。



設計条件			
材料強度	鉄筋	引張応力度	地下水位以下 160 N/mm ² 基本値、定着長 200 N/mm ²
	コンクリート	圧縮応力度	200 N/mm ²
		曲げ圧縮応力度	10.0 N/mm ²
		軸圧縮応力度	8.5 N/mm ²
		付着応力度	1.8 N/mm ²
		せん断応力度	0.25 N/mm ²
鉄筋	種類	S3045	
コンクリート	設計基準強度 (σ _{ok})	30 N/mm ²	
	粗骨材の最大寸法	25 mm	

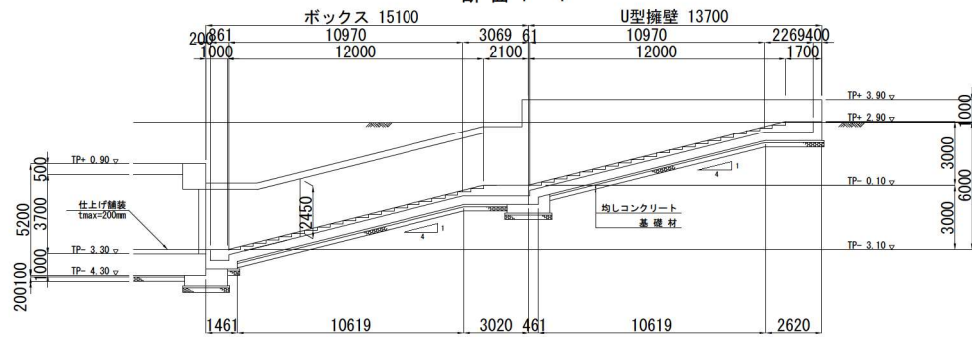
東側斜路付階段

平面図

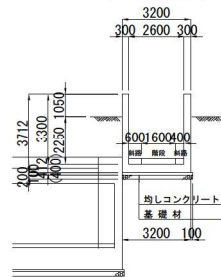


設計条件				
材料強度	鉄筋	引張応力度	地下水位以下 基本値、定着長	160 N/mm ² 200 N/mm ²
	コンクリート	圧縮応力度	200 N/mm ²	
		曲げ圧縮応力度	10.0 N/mm ²	
		軸圧縮応力度	8.5 N/mm ²	
		付着応力度	1.8 N/mm ²	
		せん断応力度	0.25 N/mm ²	
コンクリート	せん断応力度	設計標準値を超過して 長期許容値を超過する場合は	1.9 N/mm ²	
鉄筋	種類	SD345		
コンクリート	設計標準強度 (σ _{ck})	30 N/mm ²		
コンクリート	粗骨材の最大寸法	25 mm		

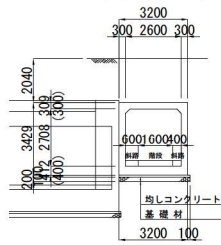
断面 1 - 1



断面 2 - 2
(U型擁壁)



断面 3 - 3
(ボックス)



※ ()内は、部材直断面での値を示す。

位置図

